



校長だより

ざまたん
座間小キャラクター

座間市立座間小学校（電話 251-0009）
校長 大谷 一

10月4日（水）に4年生が、ハーモニーホール座間の大ホールで連合音楽会に参加してきました。座間小学校は140名以上が参加したので一番人数が多かったのですが、声の大きさだけではなく、美しい声（特に高音）とパート同士のハーモニーが調和されていて完成度の高い素晴らしい合唱でした。コロナの影響で3年ぶりの開催になりましたが、来年度からはハーモニーホールが改修工事になるので2年間使用できません。とても貴重な経験ができたと思います。



5年生稲刈り



3年生ズーラシア遠足

ICT技術の発展は社会生活を大きく変化させてきています。便利さだけではなくその弊害も指摘されています。学校でもICT機器が普及し、児童には1人1台タブレット端末が行き渡りデジタル教材を活用する環境が整ってきました。教育DX（デジタルトランスフォーメーション）について私は次のように予想しています。学校は児童と先生が直接向き合うことを大切にしています。このことが学校教育の根幹であるのでそれはこれからも変わらないと思います。そして将来的には先生の指導することとAI（人工知能）が担う教育とが役割分担されていくのではないかと思います。先生は先生（人）だからこそできる業務に専念し子どもと向き合う時間をより多く持てるようになっていくと思います。そのために「知識の習得」については、先生が個人差のある1クラス（約35人）の児童を一斉に指導するよりも、AIを活用することで児童がタブレットを使って個別最適化された（児童一人ひとりに適した）学習課題に取り組むことで効率的に効果を上げるようになっていくのではないかと思います。

AIが担うものとして、例えば算数の計算問題は、正解を答えればその児童にちょうど難易度が適した問題を次々に出題していきそれを学習する。逆に間違っていた時にはその間違えた答えをAIが判断して、なぜ間違えたのかが分かるように説明する動画を示すなどして児童に理解を促し、それを踏まえてまた他の問題で確認しながら理解を深めていくというようになっていくのではないかと考えます。漢字の読みや書き取り、かけ算九九、地理や歴史の覚えるべきことなどは主にAIが担当し、先生は児童の思考力や判断力、表現力、主体的に学習に取り組む態度の育成などを中心に授業をすすめていく。実技教科についても、知識として獲得するものはAIに、技能を身に付けたり、感性を育んだりするものなどは先生にと、変わっていくのではないかと考えています。具体的な方針などが出ているわけではありませんが少しずつ教育DXが進んでいくことも視野に入れて準備をすすめていきたいと思っています。